

2012

岐大通

2012 J.League Division2

第29節 ファジアーノ岡山 戦

8/19(日) 19:00~

@長良川球技メドウ

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

8/19号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田鑄造

today's guest : ファジアーノ岡山 2011 J2 13勝 9分 1敗 勝ち点 48 第13位

中国地方の社会人サッカーを牽引していた川崎製鉄水島サッカー部（1995年より移転して「ヴィッセル神戸」となる）のOBチームとして1975年から存在していたリバーフリーキッカーズを母体にして2003年に結成。2006年には中国リーグを制し地域リーグ決勝大会に駒を進めるも、決勝ラウンドでTDK、FC岐阜の後塵を拝し3位となりJFLに昇格出来ず。翌年、中国リーグ在籍ながらJリーグ準加盟が認められる（地域リーグ所属クラブの準加盟認定は初）。その年の地域決勝で優勝してJFLへ。JFL1年目で4位となりJリーグ参入。最高位は2011年のJ2・13位。（吉田鑄造）

前々節・ホーム福岡戦では、今季最高の（クラブとしてもJリーグ参入後2番目に多い）8492人もの観客を集めながらも、0-3と完敗してしまったFC岐阜。つづく前節・アウェイ草津戦でも、せっかく先制して優位に試合を進めながらも、ロスタイムにDFのミスから同点弾を押し込まれて1-1の引き分けとされてしまい、勝ち点2を失う結果となってしまった。これで7月からの7試合で（引き分けが4試合あるけれど）未だ勝利がないFC岐阜。順位は19位と変わりがないものの、最下位の町田が千葉に勝ったため、勝ち点3の範囲内に19位から22位まで4チームがひしめき合う混戦に戻ってしまった。今節の結果次第では順位が変わってしまう可能性もある。なにより、今節は夏休み最後のホームゲーム、しかも2年ぶりの長良川球技メドウでの試合だ。是非とも勝利でチームに勢いをつけたいところだ。

さて、その対戦相手はファジアーノ岡山。岡山は（前々節までは7試合未勝利だったものの）現在は2連勝中と調子を取り戻しており、順位も10位とプレーオフを狙える位置につけている、油断の出来ない相手だ。特に9得点を挙げている#20FW川又堅基は要注意選手だろう。しかし、一方では通算対戦成績が岐阜の5勝2分1敗と相性が非常にいい相手に、5月6日のアウェイ戦でも岐阜が#10MF樋口のゴールで勝っている。この相性の良さを活かして、是非とも勝ち点3を奪いたい。

そのためには、何よりも先制点が必要だ。岐阜の課題である攻撃力は、#32FWアブタと#35FWダニロの2人のブラジル人選手の加入で改善が見られてきているものの、つい彼ら任せになったり、周りの選手がどう彼らを活かすのかというチーム理解が浸透していないように感じられる。また、攻守の切り替えが遅いために相手にブロックを形成されてしまっているのも気になる点だ。今節のFC岐阜は攻撃の起点となっていた#11MF染矢が累積警告で出場停止。苦しいチーム事情だけれど、ここで勝利を掴み、残り試合が3分の1となったリーグ終盤戦への勢いをつけてほしい。（ささたく）

2012J2 順位表 第28節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 岐阜から見て

1	甲府	56p	+19	41	22	H●	A△
2	東京V	52p	+20	49	29	A●	
3	湘南	52p	+17	46	29	A●	
4	京都	52p	+12	41	29	H●	
5	大分	51p	+15	42	27	H●	A△
6	千葉	50p	+22	40	18	A○	
7	山形	48p	+11	39	28	A●	
8	横浜FC	47p	+12	42	30	H●	
9	栃木	45p	+5	34	29	A△	
10	岡山	42p	+1	24	23	A○	
11	水戸	37p	0	30	30	H●	
12	徳島	37p	-2	28	30	A●	
13	北九州	36p	-4	29	33	H○	
14	松本	36p	-5	25	30	H●	
15	愛媛	33p	+2	35	33	H△	
16	福岡	33p	-5	36	41	A△	H●
17	草津	32p	-7	22	29	H△	A△
18	熊本	32p	-11	24	35	A●	H●
19	岐阜	21p	-24	16	40	==	==
20	鳥取	20p	-37	21	58	H△	A●
21	富山	18p	-18	22	40	A●	H△
22	町田	18p	-23	19	42	H○	



本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>

ALADDIN

何も無い店だけど・・・

心の花が咲く・・・

何も無い店だけど・・・

心癒される・・・

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休：日曜日（今日はお休みです）

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998

◇『岐大通』バックナンバーのお知らせ

すべてのバックナンバーを「吉田鑄造総合研究所」でpdfファイルを公開しています。配布時はA3サイズだったものも、こちらではご自宅などで印刷しやすいよう、すべてA4サイズに修正いたしました。下記アドレスをご参照ください。

<http://www.cyic.co.uk/fcgifu/gidaidohri.html>

次回 HomeGame

第30節 ジェフユナイテッド千葉戦

8/22(水) 18:00【平日ナイトゲームですが18時開始です!】

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

投稿募集! gidaidohri@hotmail.co.jp

【第2節】岐阜0-3福岡

●なんと観客 8492人！夏休みシーズンだし、浴衣デーだったし、県サッカー協会やフットサルとの連携企画があったり、理由はいろいろ考えられるものの、それでもとにかく、これだけのお客さんが入るとスタジアムは本当に賑やかで華やかで、迫力が出るなぁ…と言うのを（富山戦での 6313 人の時にも感じたけれど）更に痛感させていただきました。これだけお客さんが入った場合の、運営面の問題（駐車場不足や屋台村の混雑、ゴミの処理）も明らかになったと思うけど、今後も、多くの方に是非とも現地観戦をお願いしたいものです（平身低頭）。

…っていう、他のクラブだったら気にしなくても良いんだろうけど、ウチみたいな経営危機を迎えているクラブにとっては、リピーターを増やすのに絶好の、ホントにホントに大事な試合だったのになぁ…（溜息）。3失点もしてしまうなんて…特に、岐阜が良い流れを掴んでいたのに、DF陣の連携ミスで失った1点目が非常に痛かった。今年は得点数が（残念ながら）非常に少ないために先制されるとバタバタする傾向が強い。だから失点してはいけないのだけど、あのミスで流れが変わってしまった。2失点目は、技ありのFKにやられたと言えなくもないし、3失点目は得点を取りに行き行って守備のバランスを崩してのものだったから、仕方がないとも言えるのだけれど…（溜息）。

攻撃についても、あと少しで得点っていう惜しいシーンが何度かあったけれど、やはり決定力不足でゴールを決めるまでにはいかなかったのは残念。1トップの#32アブタにボールを預けるのは良いのだけれど、預けた後はボールが出てくるのを他の選手が待ってしまっているようなシーンが目についた。相手もアブタに2人3人でボールを奪いに行くから、そう簡単にキープできるはずもない。フリーになった選手がアブタからボールを貰いにいく連動的な動きが不足していたと思う。また、多くの選手が安直にバックパスに頼り、積極的に前を向く姿勢も不足していたのではないかなあ、と…。

なにより気がかりなのは、最近どうも「ホーム戦の方が、アウェイ戦よりも動きが悪くないか？」って感じてしまうことだ。選手たちに「勝たなければならない」という過剰なプレッシャーがあって、動きが慎重&堅くなってしまうのか、（試合前日でも真面目に練習している選手が多いので）疲労回復が不足しているのか。理由はわからないが、そんな風に感じてしまうのは僕だけなのだろうか。

でも、だからこそ、僕らサポーターが選手の背中をもっと押してやらなきゃ、とも思う。幸いなこと（？）に、次回ホームでの岡山戦は、「あの」長良川球技メドウだ。鳴り物禁止でスタンドからピッチが目の前にあるスタジアム。サポーターの声援が、良くも悪くもダイレクトに選手に届く。しっかりと後押しをして、今度こそホームで万歳四唱を！（ささたく）

●浴衣デーということや、各方面の後押しもあって今年最高の観客動員の中での惨敗。試合終盤に早々にスタジアムを後にする方が多かったのが悲しかった。更に細江岐阜市長も来場されていたというではないか。チームはこの試合の重要性を分かっていたいなかったのかな。勝ち負けがあるのは致し方ないとして、おそらく初見の方が多かった中で次もまた見に来ようと思わせるような試合ができたと思えて言えるのだろうか？

富山、鳥取、町田も思ったように勝ち点が伸ばせない状況にある。残り試合も少なくなっていく中で、少しでも勝ち点を引き離して安全圏に入っていかなければならない。これからは一戦必勝、トーナメントのつもりで戦ってほしい。

（岐阜の誇り）

●いや、もう何と言っているのか……。試合中から、いろいろ考えて、試合後に仲間の意見を聞いて、帰ってからスカパー！の録画を見直して、いちばん知りたかったことを確認して。まあ、少なくとも今季最高 8492人の前で披露する試合じゃなかった……。いや、いつもどおりの人数だったとしてもこんな試合を見せられてはたまったもんじゃないが（苦笑）。今季ワーストといってもいいような内容だった。

ウチが勝つためには前半0-0、もしくはイーブンでまとめなきゃならない。そんな中で先制点を奪われる。いつぞやの甲府戦が思い起こされるような失点。そりゃ、野垣内じゃなくて長友だろうが徳永だろうが、あんな2対1の場面を作られたらどうしようもない。だが、SBが外に開いた選手に当たりにいかなかったら正確なクロスが入るのは当然のこと。中は味方に任せて、チェックにいつてほしかったな。それに、同じような場面を失点する前にも作られてたのに、性懲りもなくまたやられるのもアレだが、せめて人数の揃ってるゴール前でどフリーのヘッド決められるのナシな（笑）。

で、いちばん気になったのが今日の交替。ことごとく失敗。替わるたびにチーム力がだだ下がっていったような気がする。中でも、失敗どころか意味不明なのが明弘→新井。2点ビハインドでケガでもないのにSBに替えてCBを入れるってありえない、と思うんだけど。しかも、スタメンのCB2人とも疲労はともかく、ケガでもない。鳥取戦のように大作戦というワケでもない。結果、CBの関田を左SB、左SBの野垣内を右へ。染矢とともにクロスを入れる能力のある明弘を下げたら、得点チャンスが減るのは当然。まさか、残留争いの得失点差を考慮し、これ以上点差つけられないようにしたワケじゃないだろう？でも、2点差の場面で投入したのにさらに1点取られてしまったワケで。もしかして、コレは？という疑念が湧いてきて、前述の録画チェック、そして、行徳さんのコメントを読んだら、その疑念がどうも当たりっぽい。最初っから、新井の起用ありき。そういう約束なんだね、名古屋と。そりゃあ、借りたんだから使わない手はないけどさ。ボクは岐阜の勝ちが見たい。ただ、それだけ。ケガ明けの新井を育てるために、ここまで積み上げたものをチャラにされるのを黙って見過ごすことなどできる道理がない。実力で出場してくれなきゃ……。昨季の暗黒時代は明弘を育てた一年ということでムリヤリ消化した？しかし、降格が現実としてある今季に勝敗度外視して育成する余裕なんてない。即戦力以外必要ないんだが、その辺のことは当然フロントもわかってるよね？

そして、問題はそれだけじゃない。アブタが大分戦でハマり過ぎて、その後の2試合がおかしくなってないか？当然、研究されるだろうからそれを想定した練習もやってるはずだけど。この2試合見ると、波はあるけど前線から守備をする洗一のスゴさがわかるよね。その洗一はFW。負ける場面で使わないなんて……。う～ん、書いててだんだん滅入ってきたぞ（苦笑）。でも、それだけヒドかった今日の試合。爆弾をいくつか抱えたまま、試合に臨まなきゃならないみたいだ。どうしても使うっていうんなら、新井はスタメン。途中交替なら、何が何でもリードしている展開が必要。そういう状況を作り出すためにも、選手を支え後押しをしていくスタジアムの雰囲気作りが重要だよな。（ぐん、）

【第28節】草津1-1岐阜

●複数の場所で試合を観戦するのを「ハシゴ酒」と同じように「ハシゴ観戦」と呼ぶ。旅してサッカー観てが好きなぼくは、この日は『陸上移動』の同じ日ハシゴ観戦の長距離移動自己記録更新。これまでは昨年7月の福島空港グラウンド→長良川のハシゴで（鉄道移動距離605.1km）、この時は長良川で京都サンガを相手に3-2で勝利している。今回は大分県中津→長良川で鉄道移動距離は823.8km もちろん、移動だけでも結構疲れる。去年はそれでも勝利のアドレナリンで疲労なんか飛んでいってしまったのだが…。岐阜0-3福岡。何これ。という試合を観ることになってしまった。8400人以上もお客さんが入って、屋台村も試合開始直前まで大賑わいで、おそらく「FC岐阜の観戦は初めて」という方も多かっただろう。そんな方々も、1失点の時はまだ応援してくれていた。でも、2点目が入ったら「さ、帰ろ帰ろ」と席を立ていく。でも、引き上げていく皆さんに「まだ追いつけるから！」と声をかけることも出来ないような試合内容。

とてもホーム戦とは思えない動きの悪さ。アウェー大分戦で見せてくれたアブダの輝きはあの1試合で終わってしまったのか。複数のDFがアブダにマークに行けばそれだけDFの枚数は減るのに、その状態を活用するスキームがまったく出来上がっていない。

明弘→新井の交替で『大作戦』（長身CBをトップに持って行って愚直に放り込む、とにかく得点が欲しい！というやり方を一部サッカーファンはこう呼びます）をするのかと思ったらそうでもなく、負けるべくして負けたというより勝つための施策が見えない、今年ワーストの内容と言いきっていい試合だった。「お願いだから、この試合が今年のワーストであって欲しい」と祈ってしまうような。旅の疲れもあったけど、試合終了後に選手を迎える心境にならなかったの、笛と同時にスタジアムを後にした。

試合後の行徳監督の記者会見をネットで読んで、明弘→新井の交替の真意が見えたようだった。つまり、名古屋グランパスが新井を岐阜にレンタルする際の条件は「とにかく試合に使うこと」だった、ということなのだろう。そうでなければ、行徳監督の「2点取られて厳しくなったが新井をどうやって入れようと考えて」という表現にはならないはずだ。つまりは、試合の勝ち負けより契約条件順守。行徳監督もツライだろうね、使いたい選手を使えない状況なんて。

相変わらず『ボトム4』から抜け出せないFC岐阜。直接対決はアウェー町田戦のみだし、J1昇格を視野に入れている上位チームに勝利を得るのは厳しいミッションになるのだから、こうした「岐阜より上位だけどまだ近い」相手から確実に勝ち点を得ていかないとJ2残留はむずかしい。そして、J2残留を前提に、行徳監督には「お願いですから来年も監督をしてください。ご自分から『もう岐阜はいいです』なんておっしゃらないでください」と申し上げたいです。100%の要望に応えるのは無理だろうけど、行徳監督がやりたいサッカーが出来るメンバーで戦うFC岐阜を観たいです。（吉田铸造）

●「さすがオレ達の熊谷！」（編集部注：この試合は草津のホーム・前橋敷島ではなく埼玉県熊谷で行われた。FC岐阜が天皇杯でJ1（千葉・当時）に勝利したスタジアム）と両拳を突き上げる準備万端だったのに……。どうして、こうなった？ いや、1点差だからね。1つのミスでこうなる。でも、試合後のハットのインタビューを読むと3つも4つもらしいからあたりまえかな（苦笑）。

まあ、タラレバはいくつもあって、カウンターで中央を突き進んで来た染矢のドリブルが右じゃなくまっすぐ行けてたら、相手DFに寄せられることなくキーパーと1対1になってたよなあ〜とか、失点につながった場面でアブがもう少しキープできてたらとか、ああいう時こそサイドで時間稼ぎしなきゃいけないよね？ とか……。挨拶に来た選手達に「こういう試合を勝たなきゃダメだ！」と、思わず叫んでしまったけど、実にもったい……。いや、そういう言葉ですませちゃいけない試合だった。この辺の勝ち切れなさが順位に現れているワケだと思うんだけど、その順位も最下位の町田が勝ったためにますます接近、混沌としてきたね。19~22位の勝ち点差が3か。シーズンの3分の2が終わって実に厳しい状態になってきた。

あと、使い方は先発しかない新井がしっかりスタメンだったけど、ケガとはいえ前半で交替枠使っちゃったのも痛かった。それ以外の交替は得点につながったし、時間の消化のために必要な起用だったと思う。前節と違って有効だっただけに全くもってもったいなかった……。オマケに、終了間際に染矢がカレー券（警告）をもらっちゃって、これで次節は警告累積によりお休みかな？ 平も疲れてる節があるけど、ここは素直に染矢の位置にゾノを入れるのかな？ あと、平常運転の加入後即スタメンだったダニロだけど、アブと違っていきなりの活躍、とはいかなかった。全体的に目立たなかったというか、サッカー用語でいうところの「消えてた」状態。さすがに、「2匹目のどじょう」はいなかったか。まだ、1試合めなんでしかたがないところもあるんだけど、シーズンも終盤にさしかかってきてるんであんまり実験している余裕もないと思うんだけど……。ここは普通に、洗一スタメンでアブと組ませてほしいなあ〜。それにしても、熊谷はいいスタジアムだった。出発前は「アツさ日本一の座は譲れない！」などとウナガッパのお膝元として意気込んでいたけど（笑）、いざ到着してみると試合中も風が吹いて半ば拍子抜けするくらいの状態。お盆ですからこんなもんかな？ 朝早く出たおかげで渋滞にも巻き込まれず（渋滞に巻き込まれ、1時間もかかってキックオフ直前に到着した仲間もいた）、スムーズに往復できたことだけはよかった……。でも、そんなことは慰めにもならない、ホントもったいない試合だった。あと1分。たった1分ガマンするだけ、だったのに……。

（ぐん、）

FC岐阜サポによるゲリラ的Ustream配信番組

今シーズンからのサポーター発信企画として、基本的にホーム戦の前日に、インターネットの動画共有サービス「ユーストリーム」を利用した手作り感満載の番組を下記アドレスで放送しています。

サポーターの『生の声』をお楽しみください

<http://www.ustream.tv/channel/sstak12-fcgifu>

次回は8/21（火）21:00開始の予定です。

長良川球技 メドウを10倍楽しむ方法

みんなの手拍子で



選手に力を!

～ご協力お願いします～

タオマフ大作戦!



選手入場時 … 高く掲げよう
ゴールチャンス … 大きく振り回そう

ここ長良川球技メドウでは、太鼓などの鳴り物を使った応援ができません。しかし、選手の息づかいが聞こえそうなほどグラウンドまでの距離が近く、目の前で繰り広げられる真剣勝負にきっと気持ちは高まるはず。ウズウズしてきたら「手拍子」や「タオマフ」(タオルマフラー)で選手を勇気づけましょう。たとえひとりのアクションは小さくても、隣の人と、前後の人と、みんなでいっしょに応援すれば、大きな力になって、選手だけでなくあなたのハートもさらに熱くさせること間違いなし。「メドウ劇場」では、観客のあなたも大切なキャストなのです。

1人でも多くの方に楽しんでいただくために

席をつめてお座りください



↑ 荷物は足元をご利用ください

通路での観戦は ご遠慮ください



小さなスタジアムなので、席もスペースも限られています。みんなが気持ちよい時間を過ごせるように、ひとりひとりがマナーを守って観戦してください。